

# 個人投資家向け IRセミナー

2023年 3月 17日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

## 目次

1. 会社概要・沿革
2. 当社が提供するサービス
3. 当社の強み
4. 業績の推移
5. 長期経営ビジョン2030
6. 中期経営計画（2022～2027）
7. サステナビリティへの取組み
8. 株主還元

# 1. 会社概要・沿革

## 証券市場

東京証券取引所  
プライム市場  
証券コード：4333

## 創業



50<sup>TH</sup> + 1 年  
Anniversary  
Toho System Science

(2021年6月に50周年)



## 売上高



142億11百万円  
(2022年3月期)

## 資本金

5億2,658 万円

## 従業員数

602 名  
(2022年4月1日時点)

## 事業内容

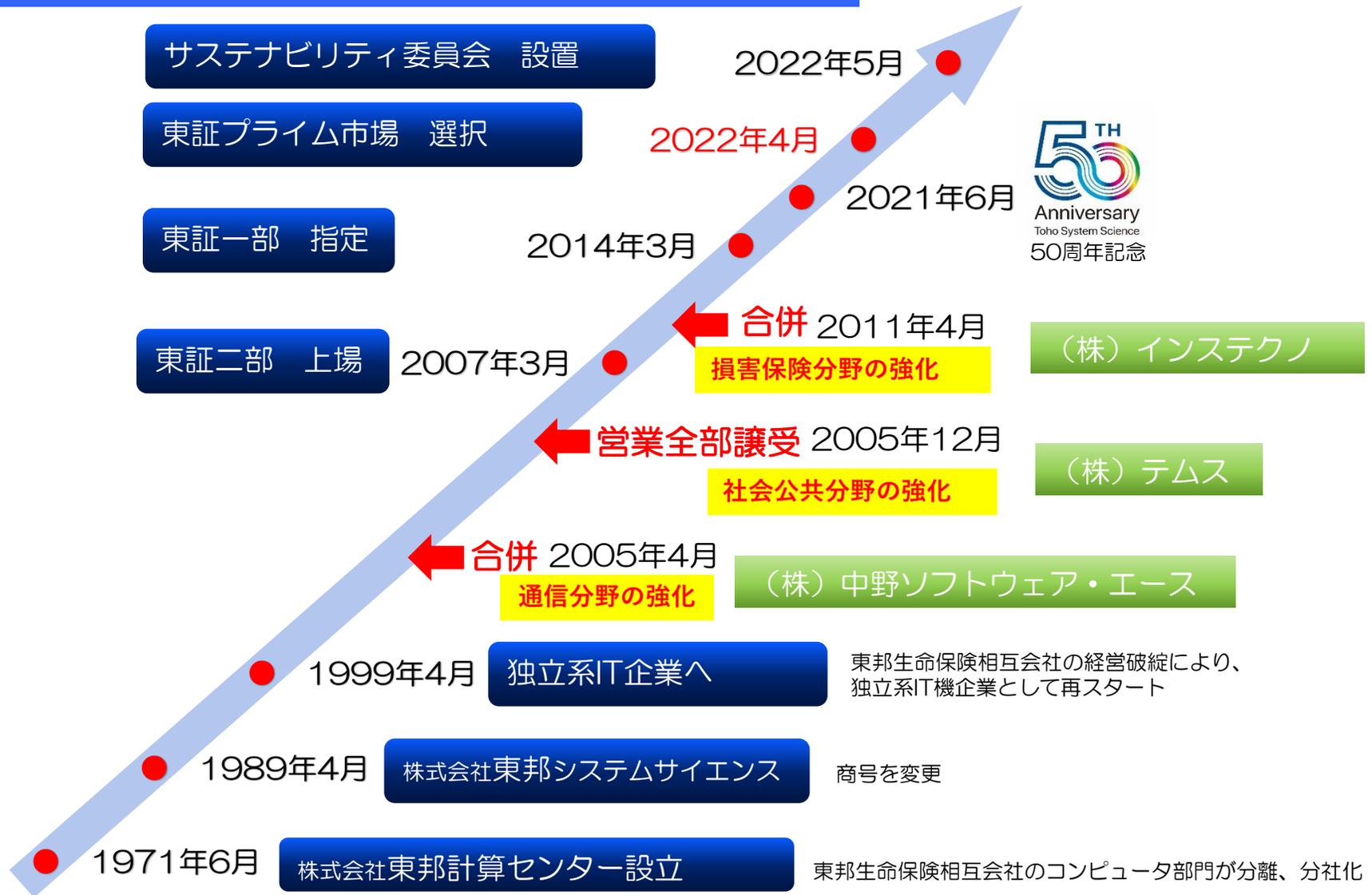
ソフトウェア開発 98.1%  
(2022年3月期)

## 特徴

金融コア型経営 75.5%  
(2022年3月期)

## 本社所在地

東京都  
文京区小石川



## 2. 当社が提供するサービス



ITはあらゆる産業で必要不可欠

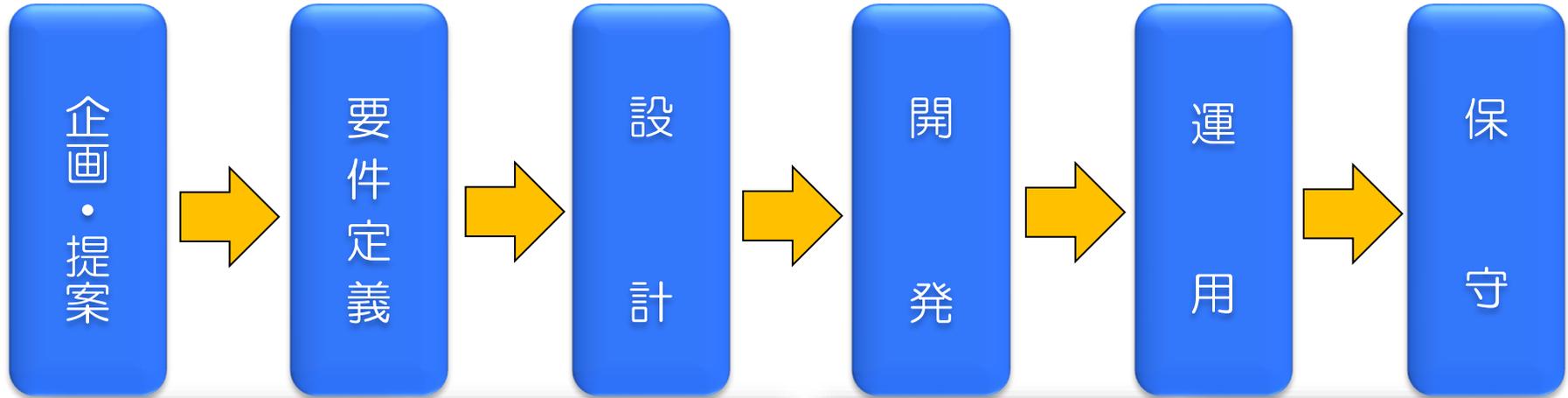


ITは便利で豊かな生活を支えています

当社は、法人企業様向けのシステムを構築・提供しています



## システム開発の流れ



当社は、提案～開発、保守までトータルにシステムを提供する **Sler** です

医療保険



個人年金保険



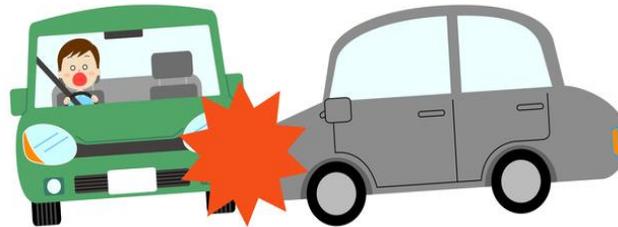
健康保険



火災保険



自動車保険



ゴルフ保険



インターネットトレード



FX



ビットコイン



インターネットバンキング



投資信託



NISA



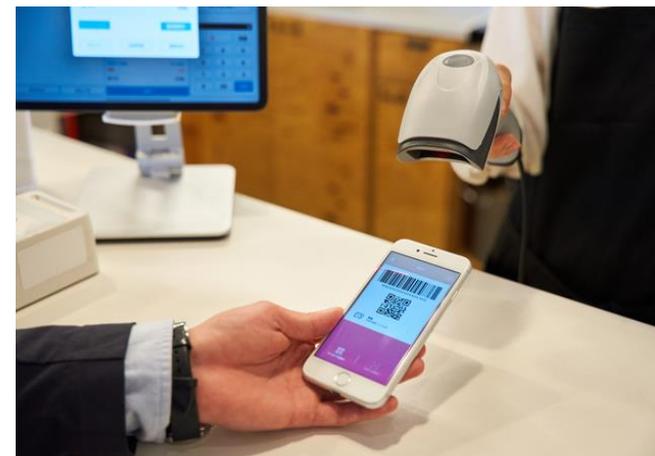
クレジット 入会審査



クレジット与信審査



ポイント管理



火災共済



医療共済



## AIエージェント



## マイナンバー



## 医療



## 流通



## 運輸



## 配電管理



ネットワーク構築



クラウド構築



データベース構築



サーバ構築



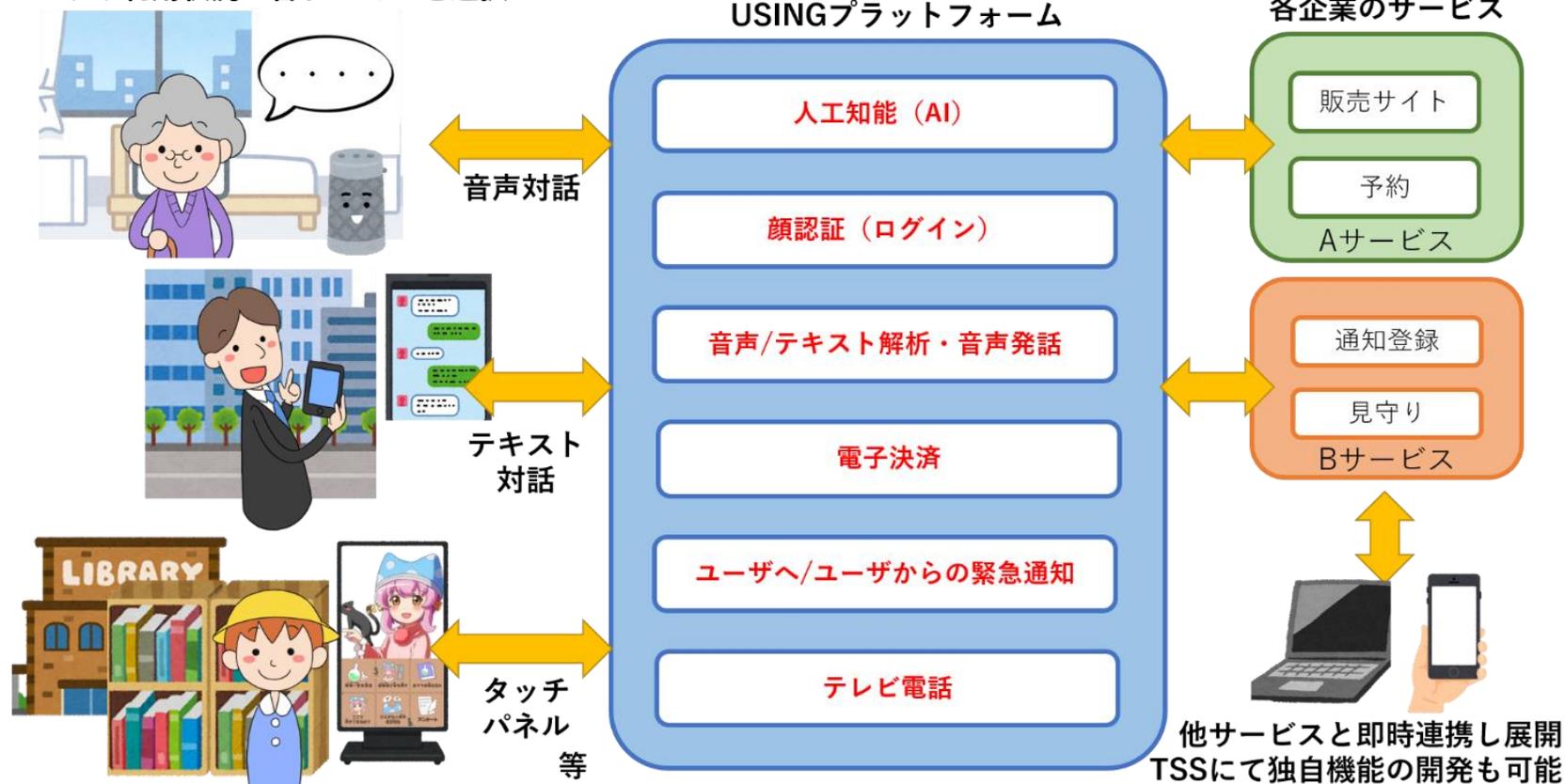
開発支援ツール



様々な用途に使用できる汎用的なコミュニケーションサービス

**U**: User Experience Design Platform  
**S**: SMART  
**ING**: ING (進行形)

ユーザや利用状況に合わせてUIを選択



## 高齢者向け対話サービス



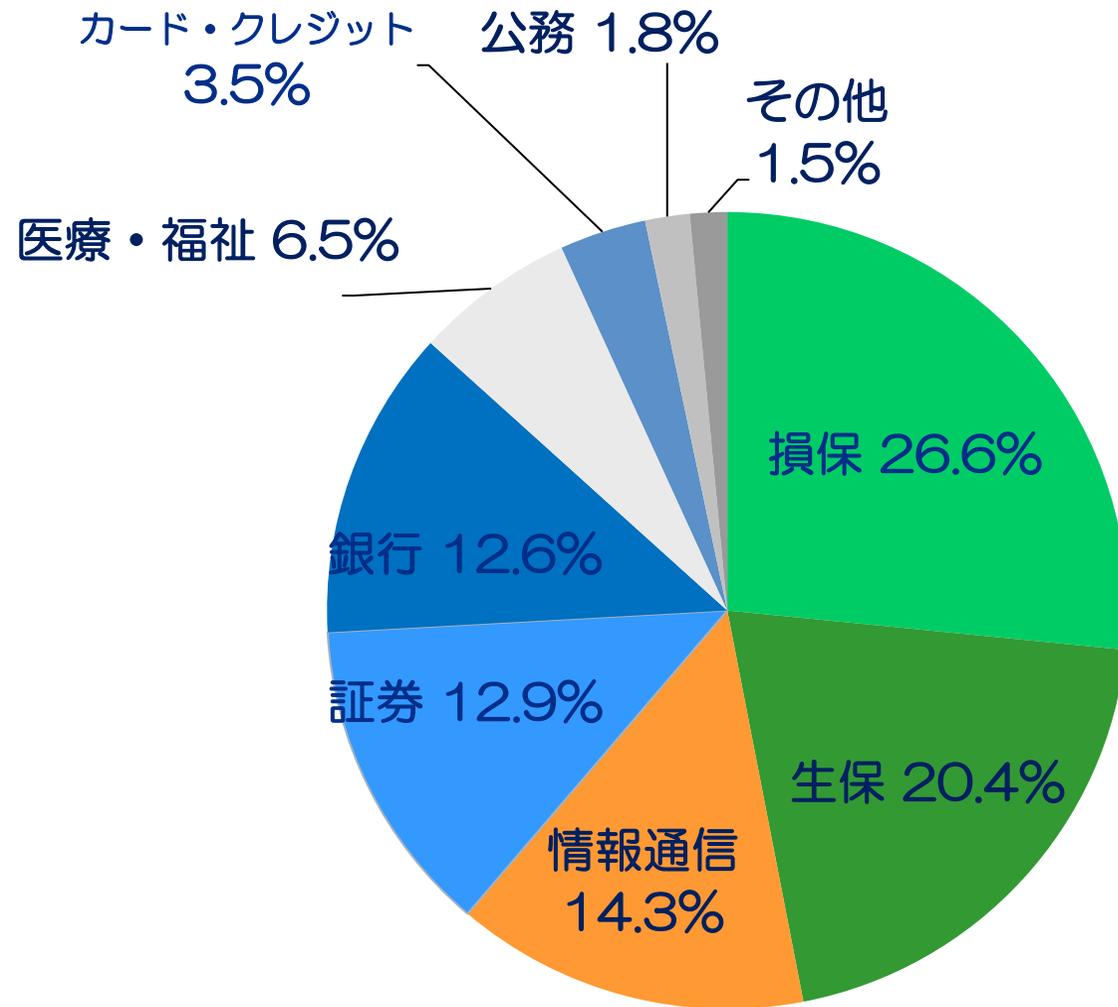
## 図書館案内サービス



## 3. 当社の強み

～高い技術と業務に精通した「システム開発のプロ集団」～

(単位：百万円)



(2022年3月期)

業種	売上高	対前年比
損保	3,779	107.4%
生保	2,905	101.0%
情報通信	2,037	107.0%
証券	1,827	109.6%
銀行	1,789	162.4%
医療・福祉	916	275.5%
カード・クレジット	495	105.7%
公務	251	161.1%

## 多数の優良顧客との継続的な取引

### ユーザー



第一生命情報システム(株)

ニッセイ情報テクノロジー(株)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)

東京海上日動火災保険(株)

岡三情報システム(株)

みずほ証券(株)

### メーカー



日本アイ・ビー・エム(株)

日本電気(株)

(株)日立製作所

富士通(株)

## 主要SIer等とのパートナー契約



(株)野村総合研究所

SCSK(株)



eパートナー



コア10パートナー

(株)エヌ・ティ・ティ・データ

BIPROGY (株)



ビジネスパートナー



2022年度 SIリーディングパートナー  
2022年度 Techビルドパートナー



DX案件  
受注

利益  
拡大

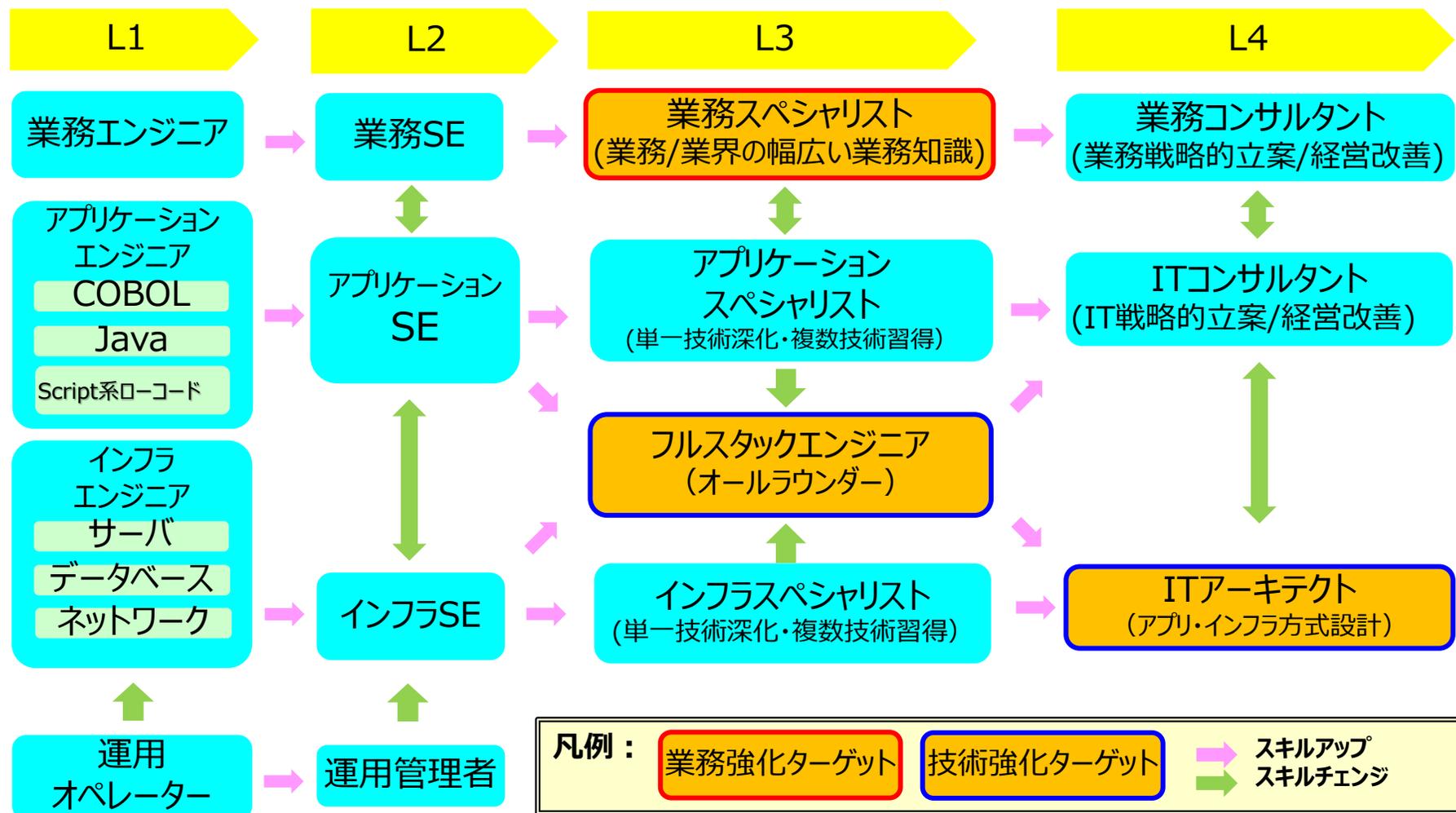
攻めの投資の創出  
↓  
持続的な成長機会

成果の厚みが増す  
循環構想  
(企業価値の源泉)

DX人材育成

持ち帰りによる  
効率的開発

# 育成のTSS(キャリアモデルマップ)



## 資格取得



### 業務系

351名

銀行業務検定協会 (金融経済、財務、税務、証券、保険販売)  
日本証券業協会 (一種外務員、二種外務員)  
ファイナンシャル・プランニング技能士 等

### 技術系 (情報処理)

735名

情報処理技術者資格 (高度、応用、基本)

### 技術系 (ベンダー)

587名

オラクルマスタ (Platinum、Gold、Silver、Bronze)  
Javaプログラマ (Gold、Silver) 等

## 研修受講



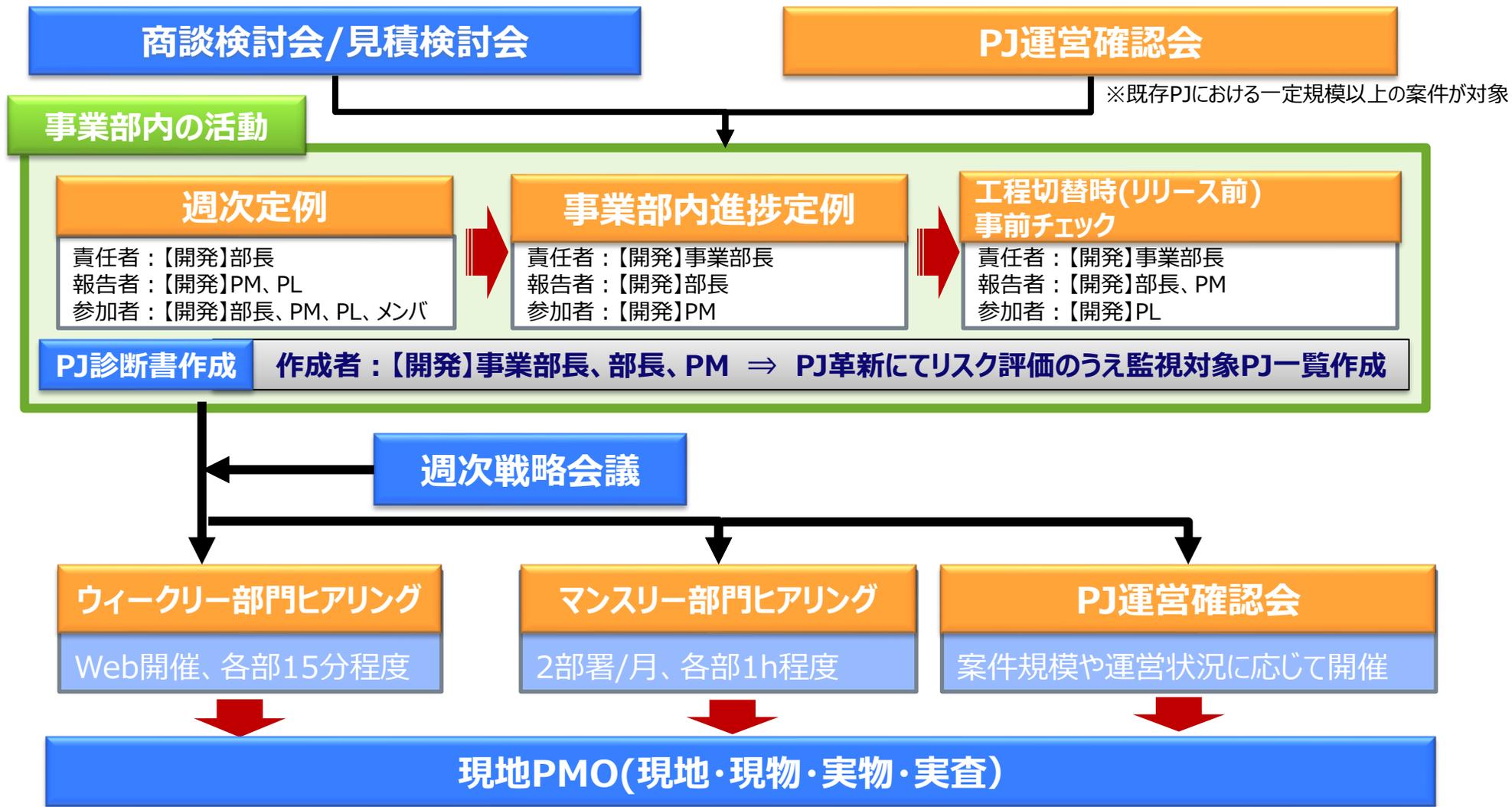
### ヒューマンスキル

階層別研修  
人材育成基礎講座  
トレーナー制度

### マネジメント

プロジェクト・リーダー養成講座  
プロジェクト・マネジメント研修  
管理職研修

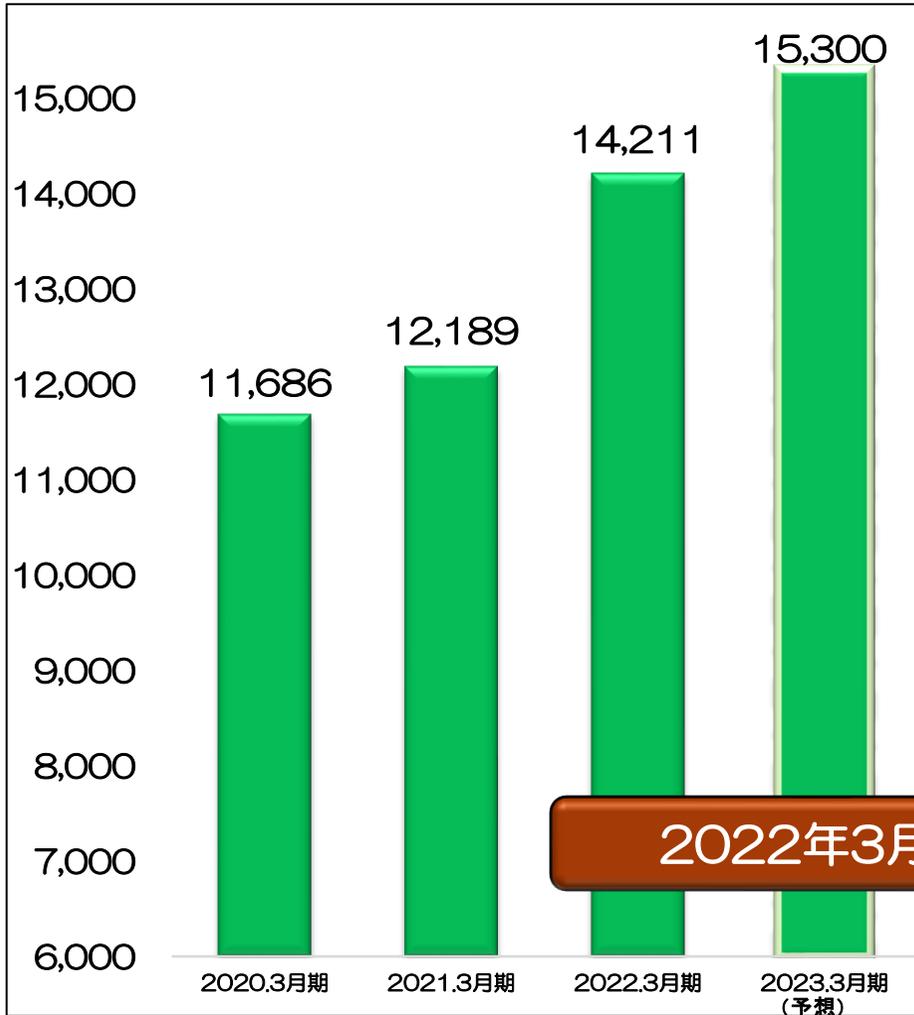
# 『プロジェクトの運営品質向上』への取組み



## 4. 業績の推移

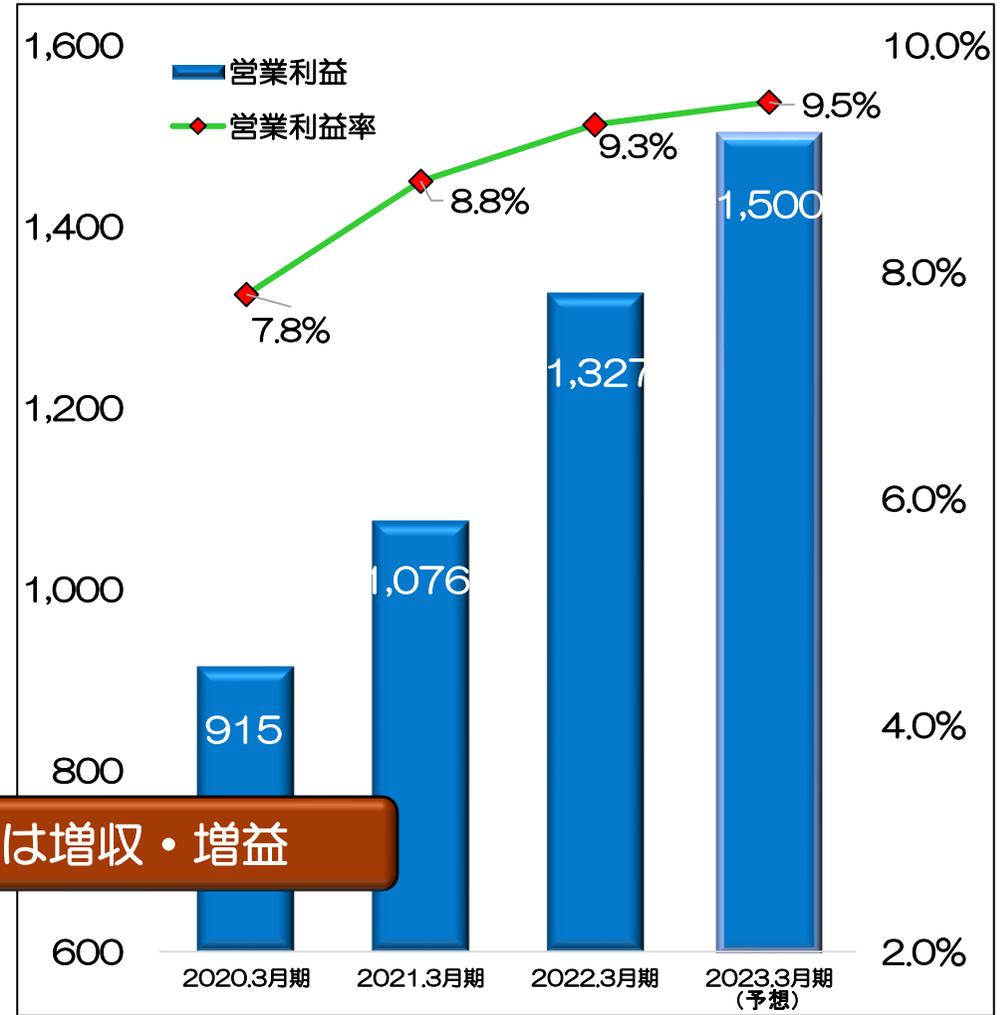
## 売上高の推移

(単位：百万円)



## 営業利益と営業利益率の推移

(単位：百万円)



2022年3月期は増収・増益

# 【参考】2023年3月期 通期業績予想(上方修正)

直近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を上方修正

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減率	前期実績 (ご参考)	前期比
売上高	15,000	15,300	2.0%	14,211	7.7%
営業利益 (営業利益率)	1,370 9.1%	1,500 9.8%	9.5%	1,327 9.3%	13.0%
経常利益 (経常利益率)	1,378 9.2%	1,508 9.9%	9.4%	1,337 9.4%	12.8%
当期純利益	953	1,026	7.7%	942	8.8%

## 5. 長期経営ビジョン2030

## ビジネス環境の変化

### DX化の加速

- ・労働力の不足、消費者のニーズや価値観の変化、市場のグローバル化などにより、より一層の業務効率化や新たなサービスの創出が求められる

### IT技術者に求められる役割

- ・SI事業の縮小や案件の小型化、DX化の加速に伴い、従来とは異なる技術者の役割が求められる。

### サステナビリティ経営

- ・近代経営では、環境・社会・経済の持続可能性に配慮した事業のサステナビリティ（持続可能性）向上が求められる

### 東証市場再編の動き

- ・2022年4月4日、東証による市場再編に伴い、各企業は市場選択を迫られ、最上位のプライム市場には持続的な成長と中長期的な企業価値の向上が求められる

## スローガン

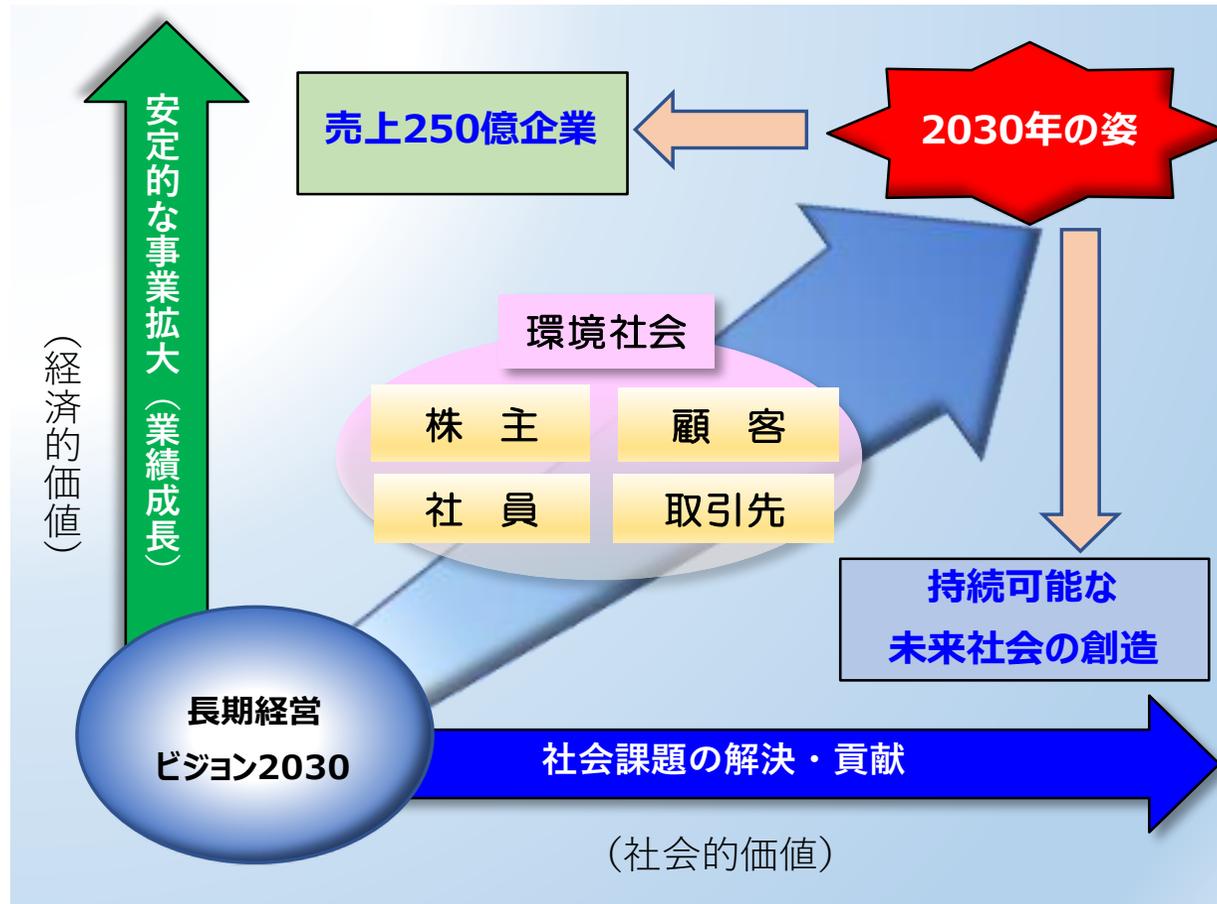
お客様と共に未来を創る

## Vision

お客様が求める価値を共に創造し実現すると共に  
その先にある社会課題の解決を図り、  
持続可能な未来社会を創造する。

# 当社の目指す姿（全体像）

経済的価値の拡大と、持続可能な社会の実現に向けた社会的価値の拡大を図り  
当社の企業価値の最大化を目指します



		2020年度	2030年度
事業収益	売上高	121.8億	250億
	営業利益	10.7億	25億以上
	営業利益率	8.8%	10%以上
経営効率	ROE	10.2%	15%以上
株主還元	配当性向目標	30%	40%以上

マテリアリティ	関連するSDGs目標	具体的な開発事例 自社対応等
豊かな未来社会	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信サービスシステム開発</li> <li>・各種DX対応開発</li> <li>・パートナー会社との協業</li> </ul>
安心・安全な未来社会	    	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命保険、損害保険システム開発</li> <li>・災害対策システム開発</li> <li>・電力供給システム開発</li> </ul>
いきがいのある未来社会	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向け対話サービス開発</li> <li>・多様な人材の雇用機会の創出</li> <li>・充実した教育体制</li> </ul>
透明性の高いガバナンス	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス（法令順守等）</li> <li>・透明、公正な意思決定プロセス</li> </ul>

## 6. 中期経営計画（2022～2027）

1. 技術者不足への対応  
(新卒・中途の採用増、DX開発推進センター内でのOJT育成)
2. 活況なデジタルビジネスへの対応  
(データ分析、非接触・非対面といった価値創出ビジネスの受注)
3. 事業ポートフォリオの見直し  
(DXオーダーが活況な金融以外の通信、公共領域の事業拡大)
4. 人月ビジネスからの脱却  
(リトを「作る」から「使う」へのシフト、サービス提供型ビジネス構築へ)
5. 株式流動性の確保とガバナンス強化  
(プライム市場維持)
6. サステナビリティ経営の推進  
(委員会の設置、方針検討、各種施策の企画、推進)

革新

**【TIB2.0】 トラディショナルITビジネス2.0（売上115億）**

【方針】 お客様の大切なソフトウェア資産を高い品質レベルで維持管理

挑戦

**【DIB2.0】 デジタルITビジネス2.0（売上80億）**

【方針】 お客様が構築する新たな付加価値サービスの支援

創造

**【CIB2.0】 クリエイトITビジネス2.0（売上5億）**

【方針】 自分達が生み出すサービスで企業や社会に貢献

強化

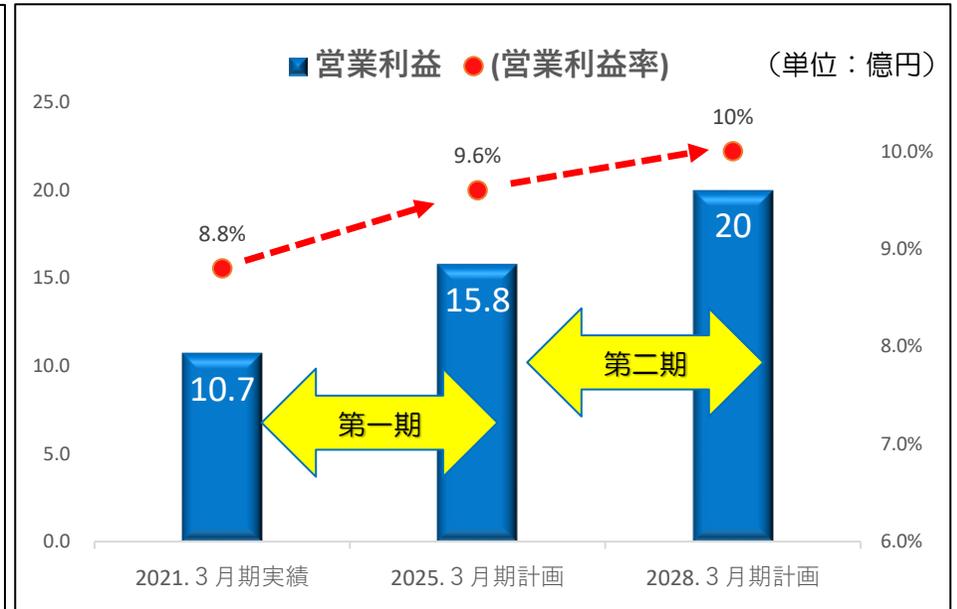
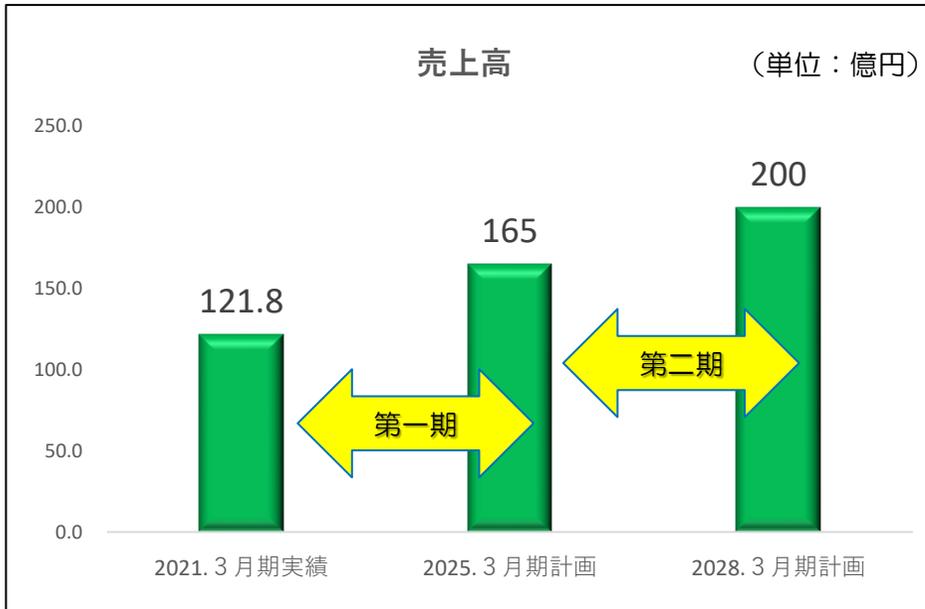
**経営基盤の強化2.0**

【方針】 DX人材確保育成、高い株式流動性の確保、ガバナンス強化、サステナビリティ推進

## ①業績（実績と計数目標）

2021.3月期実績		2025.3月期計画		2028.3月期計画	
売上高	121.8億	165億	200億	200億	200億
営業利益	10.7億	15.8億	20.0億	20.0億	20.0億
営業利益率	8.8%	9.6%	10.0%	10.0%	10.0%
ROE	10.2%	11.4%	12.5%	12.5%	12.5%

## ②活動指標



## 7. サステナビリティへの取組み

# サステナビリティ経営（マテリアリティテーマ選定）

豊かな未来  
社会

安心・安全な  
未来社会

生きがいのある  
未来社会

透明性の高い  
ガバナンス

## ■達成度の指標

CDP回答（2022年7月22日）  
⇒ スコアリング + スコアUP

## ■積極的な開示の促進

- ・サステナビリティサイト
- ・TCFD等非財務情報の開示
- ・人的資本政策の開示

## 期待価値の創出

財務的価値 + 非財務的価値  
(今見えている + 今後期待される)



企業価値の更なる向上

## 各種DX対応開発



## 通信サービスシステム開発



## パートナー会社との協業

## 災害対策システム開発



## 生命保険、損害保険システム開発



## 電力供給システム開発



## 高齢者向け対話サービス開発



## 充実した教育体制

## 雇用機会の創出（人材の多様性）





コンプライアンス (法令順守等)

透明、公正な意思決定プロセス



公益財団法人日本ユニセフ協会へ  
21年連続 総額1,510万円を寄付



地域貢献活動として朝日新聞ニュースを  
文京区立指ヶ谷（さすがや）小学校に定期的に寄贈



グリーン購入、ペーパーレス化、クールビズや  
エアコンの温度設定など省資源・省電力により  
地球温暖化防止へ配慮



## 8. 株主還元

## 重要な株主還元

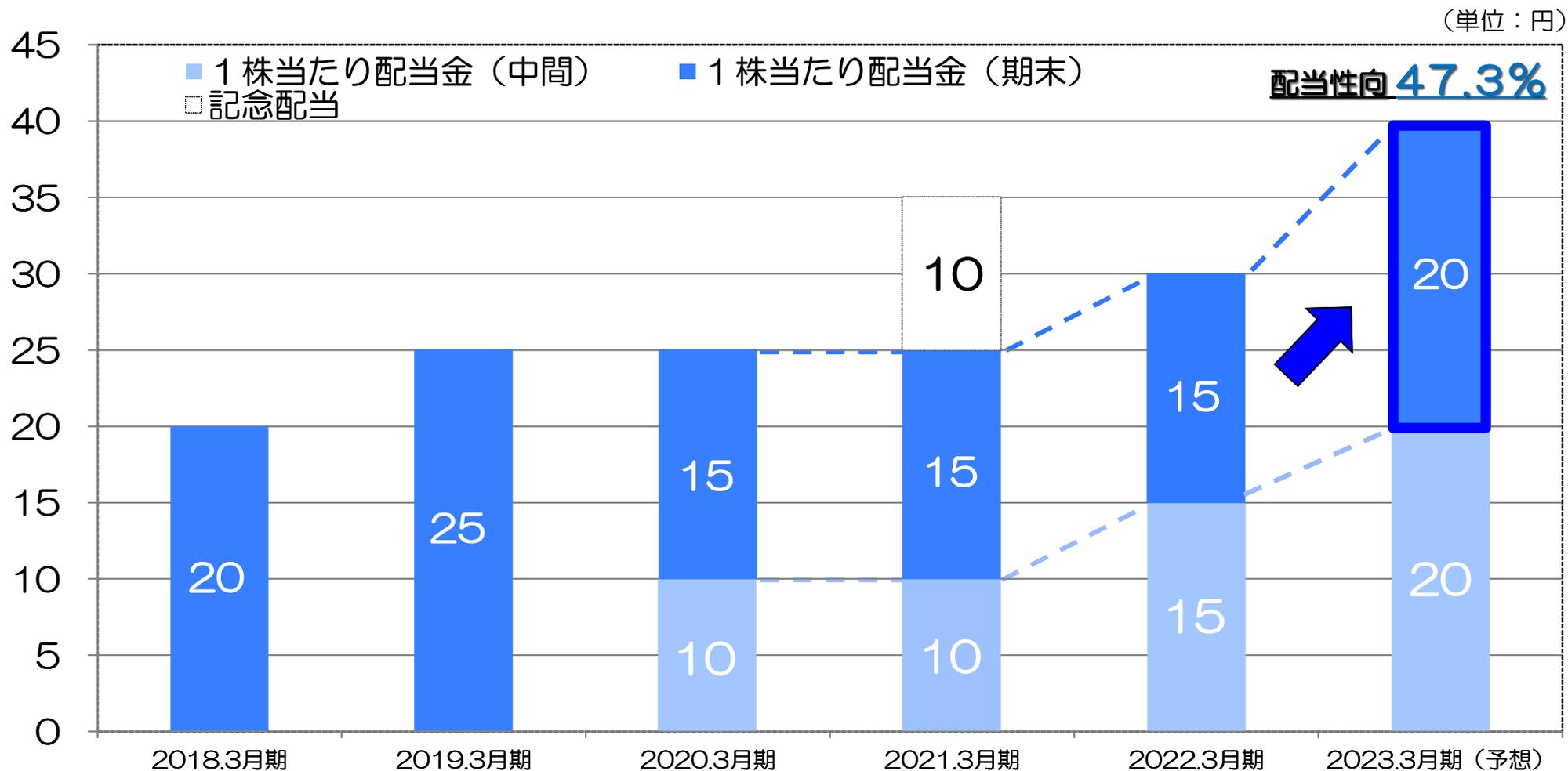
長期にわたる  
安定的な  
配当

株主優待  
制度

# 【株主還元施策①】長期にわたる安定的な配当

## 基本方針

長期安定的な株主還元、事業拡大のための資金確保（配当性向**40%**程度）



## 変更内容

保有株式数	現行	デザイン
100株以上 200株未満	(新設) クオカード <u>1,000円分</u>	 <p>The image shows a QUO 1000 card with a blue and white geometric design. It features the text 'Challenge Unlimited Possibilities' and the TSS logo. At the bottom, it says '株式会社 東邦システムサイエンス' and 'IN 0 5 10'.</p>
200株以上	クオカード <u>2,000円分</u>	

## 変更時期（適用条件）

**2022年9月30日**現在の株主名簿に記載されている株主様より適用

# 最適なシステムソリューションを 提供する高信頼企業！

皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、  
よろしくお願い申し上げます。

## \* 本資料についてのご注意

本資料は、2023年3月期中における業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている株式会社東邦システムサイエンスの将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

また、本資料における画像の提供元につきましては、PIXTA(ピクスタ)となります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。